

改革工程表2(年度別実行計画)

会計名及び部局・課名	病院事業会計	病院局経営管理課
改革遂行責任者	病院事業管理者, 病院局長, 経営管理課長, 総務部長, 財政課長	

改革方針	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度以降			
1 第3期病院改革の推進 平成26～29年度を計画期間とした、茨城県病院事業中期計画(平成25年度策定「以下中期計画とする」)を指針とした計画的な病院運営を図る。	第3期病院改革期間 茨城県病院事業中期計画を指針とした計画的な病院運営(業務目標・収支計画の設定, 経営改善の推進)							
	評価・提言 県議会, 茨城県立病院運営評価委員会等							
	運営評価委員会 [H26.10 H27.2]	[H27.8 H28.2]	[H28.11 H29.2]					
2 病院機能強化の取組み 【業務目標の設定】 中期計画において、各病院の業務目標を設定した。平成29年度までにこの目標の達成を目指していく。	○中央病院		○こころの医療センター		○こども病院			
	区分	目標項目	基礎数(H24実績)→目標(H29まで)	目標項目	基礎数(H24実績)→目標(H29まで)	目標項目	基礎数(H24実績)→目標(H29まで)	
	高度・専門医療	ダウインチ対象診療科拡大	1診療科→4診療科	PSG検査患者数	87人→208人	心臓血管外科手術数	94件→100件	
		化学療法件数	8,318件→10,000件		造血細胞移植件数	14件→20件		
	救急医療	放射線治療(IMRT)件数	0件→100件	光トポグラフィー検査数	0件→550件	外来リハビリ数	0件→500件	
		救急搬送応需率	96.5%維持	救急患者数	1,111人→1,200人	救急車搬送受入数	979人→1,000人	
	地域連携による地域医療の提供	透析件数	8,962件→16,000件	アウトリーチ訪問回数	45回→50回	在宅医療の指導患者数	348人→500人	
		小児科入院・産科の再開	休止→再開					
	教育・研究拠点の取組み	医師不足地域への応援医師派遣数	100回→拡充	初期・後期研修医受入数(年換算)	初期2.8人→初期+後期5人	初期・後期研修医受入数(年換算)	初期2.3人→5人 後期6.9人→8人	
		認定看護管理者(他院)養成数	25人→4年で100人					
初期研修医採用数		6人→10人						
【26年度実績】		【27年度実績】		【28年度実績】				
○中央病院		○中央病院		○中央病院				
区分	目標項目	H26実績	区分	目標項目	H27実績	区分	目標項目	H28実績
高度・専門医療	ダウインチ対象診療科拡大	2診療科	高度・専門医療	ダウインチ対象診療科拡大	2診療科	高度・専門医療	ダウインチ対象診療科拡大	2診療科
	化学療法件数	7,806件		化学療法件数	7,489件		化学療法件数	7,821件
	放射線治療(IMRT)件数	89件		放射線治療(IMRT)件数	110件		放射線治療(IMRT)件数	132件
救急医療	救急搬送応需率	97.70%	救急医療	救急搬送応需率	98.50%	救急医療	救急搬送応需率	97.40%
	透析件数	9,852件		透析件数	10,345件		透析件数	13,203件
地域連携による地域医療の提供	小児科入院・産科の再開	休止	地域連携による地域医療の提供	小児科入院・産科の再開	再開(産科)	地域連携による地域医療の提供	小児科入院・産科の再開	再開(産科)
	医師不足地域への応援医師派遣数	334回		医師不足地域への応援医師派遣数	532回		医師不足地域への応援医師派遣数	499回
教育・研究拠点の取組	認定看護管理者(他院)養成数	30人	教育・研究拠点の取組	認定看護管理者(他院)養成数	33人	教育・研究拠点の取組	認定看護管理者(他院)養成数	33人
	初期研修医採用数	7人		初期研修医採用数	11人		初期研修医採用数	11人
○こころの医療センター		○こころの医療センター		○こころの医療センター		○こころの医療センター		
区分	目標項目	H26実績	区分	目標項目	H27実績	区分	目標項目	H28実績
高度・専門医療	PSG検査患者数	116人	高度・専門医療	PSG検査患者数	176人	高度・専門医療	PSG検査患者数	141人
	光トポグラフィー検査数	0件		光トポグラフィー検査数	0件		光トポグラフィー検査数	0件
救急医療	救急患者数	1,254人	救急医療	救急患者数	1,230人	救急医療	救急患者数	1,401人
地域連携による地域医療の提供	アウトリーチ訪問回数	60回	地域連携による地域医療の提供	アウトリーチ訪問回数	65回	地域連携による地域医療の提供	アウトリーチ訪問回数	76回
教育・研究拠点の取組	初期・後期研修医受入数	4人	教育・研究拠点の取組	初期・後期研修医受入数	6人	教育・研究拠点の取組	初期・後期研修医受入数	6人

○こども病院		
区分	目標項目	H26実績
高度・専門医療	心臓血管外科手術数	68件
	造血細胞移植件数	12件
	外来リハビリ数	642件
救急医療	救急患者搬送受入数	1,308人
地域連携による地域医療の提供	在宅医療の指導患者数	429人
教育・研究拠点の取組	初期・後期研修医受入数	初期2.7人 後期5.4人

○こども病院		
区分	目標項目	H27実績
高度・専門医療	心臓血管外科手術数	77件
	造血細胞移植件数	9件
	外来リハビリ数	1,390件
救急医療	救急患者搬送受入数	1,496人
地域連携による地域医療の提供	在宅医療の指導患者数	428人
教育・研究拠点の取組	初期・後期研修医受入数	初期2.3人 後期10.5人

○こども病院		
区分	目標項目	H28実績
高度・専門医療	心臓血管外科手術数	70件
	造血細胞移植件数	8件
	外来リハビリ数	2,884件
救急医療	救急患者搬送受入数	1,409人
地域連携による地域医療の提供	在宅医療の指導患者数	471人
教育・研究拠点の取組	初期・後期研修医受入数	初期2.2人 後期14.8人

3 繰入金金の縮減

上記2の病院機能強化の取組みと併せて、①収益確保対策、②経費節減対策、③未収金対策、④意識改革・業務改善の推進に取り組み経営改善を進める。中期計画を着実に実行していくことにより、収支計画に沿った運営と一般会計からの繰入金金の削減に努める。

中期計画の着実な実行により、収支計画にそった運営と繰入金金の縮減に努める

【主な見直し項目】

- ・高額医療機器購入→繰入割合を縮減
- ・法定福利費一定数増員分に係る繰入割合を縮減

[繰入金額](百万円)		
	H26計画	H26実績
中央	2,277	2,226
こころ	1,305	1,238
こども	1,126	1,092
本庁	216	214
計	4,924	4,770

【繰入金削減の取組】

- ・H26年度以降に取得またはリース開始する医療機器(5千万円以上)の繰入割合を1/2に縮減
- ・職員の増員により増大する分の法定福利費繰入金相当額の1/2を削減

(参考)

[収支計画] (H26実績)				
項目	中央	こころ	こども	
経常収支比率	102.2%	101.4%	102.8%	
病床利用率	81.7%	81.4%	87.8%	
職員給与比率	51.2%	85.7%	61.0%	

【主な見直し項目】

- ・高額医療機器の保守・修繕費→繰入対象外に削減

[繰入金額](百万円)		
	H27計画	H27実績
中央	2,247	2,107
こころ	1,203	1,089
こども	1,076	1,076
本庁	216	175
計	4,742	4,447

【繰入金削減の取組】

- ・H27年度以降に取得またはリース開始する医療機器(5千万円以上)に係る保守・修繕費を繰入対象外に削減

[収支計画] (H27実績)				
項目	中央	こころ	こども	
経常収支比率	101.2%	103.8%	100.5%	
病床利用率	84.0%	80.5%	85.0%	
職員給与比率	51.9%	82.5%	62.4%	

【主な見直し項目】

- ・空床確保経費→繰入割合を縮減

[繰入金額](百万円)		
	計画	H28実績
中央	2,263	2,360
こころ	1,118	1,038
こども	1,059	1,098
本庁	216	159
計	4,656	4,655

【繰入金削減の取組】

- ・結核及び精神病床(身体合併病床、保護室)の空床確保に係る経費の繰入割合を、一般病床利用率に縮減

[収支計画] (H28実績)				
項目	中央	こころ	こども	
経常収支比率	99.1%	97.7%	99.1%	
病床利用率	83.7%	78.0%	88.7%	
職員給与比率	55.9%	88.7%	65.6%	

[繰入金額](百万円)

	計画
中央	2,112
こころ	1,152
こども	1,107
本庁	230
計	4,601

[収支計画] (H29見込み)

項目	中央	こころ	こども
経常収支比率	100.5%	99.8%	100.7%
病床利用率	84.3%	87.0%	89.2%
職員給与比率	51.0%	84.2%	63.8%